

関西広域産業共創プラットフォーム News Letter

2025(令和7)年
2月末発行

●PF事業の活動紹介

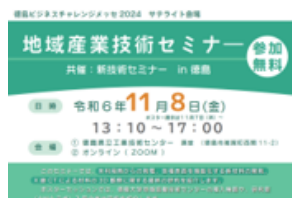
今月号のNews Letterでは、直近の関西広域産業共創プラットフォーム（以下、「PF」）の活動をご紹介します。

（１）PF事業のPRについて

PFは事業の対外PRにも力を入れており、これまでさまざまな機会を得てPRしてまいりました。今年度は以下のイベントに参加しました。

今後ともこのようなイベントに積極的に参加して、事業のご説明やチラシの配布など、PFの認知度アップのために活動を強化してまいります。

- 10/21 産総研・関経連うめきたサイト開設記念セミナー
- 11/05 京都市産業技術研究所ユーザーズコミュニティ創造フォーラム
- 11/05 兵庫県立工業技術センター 成果&事例発表会
- 11/08 地域産業技術セミナー・新技術セミナーin徳島
- 11/26 わかやまテクノ・ビジネスフェア
- 02/04 NEDO本部への訪問
- 03/18 DX促進セミナー（予定）



（２）うめきた響合の場

1/24に産総研・関経連うめきたサイトで「うめきた響合の場」が開催されました。

このイベントは、大企業のオープンイノベーション部門や支援機関が集う場に、スタートアップ等がアイデアやシーズ、相談を持ち込み、マッチングを行うことで、新たなイノベーション創出につなげることを目的としています。

第5回となる今回は「AI/ロボット/業務効率化」をテーマに掲げ、PFからも連携コーディネーターと事務局担当者が参加しました。製品開発の強化・事業化に関する3件のご相談に対してアドバイスをを行いました。



～事務局便り～

今月に入って大寒波の到来により、豪雪地帯における大雪に関する報道をよく目にしました。ここ数年の「暖冬」という言葉に懐かしさを覚えてしまいます。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

当PF事業の立ち上げ当初は、なぜこの事業を始めるのか、需要があるのか、日々の活動をどうするのかなど、多くの「なぜ」に自問自答が続きました。開始早々から寄せられた、想定以上の件数のご相談に全力で取り組むことで、自然に「なぜ」に対する回答も得ることができました。関係者の皆様には改めて感謝します。

最近では、中長期的に取り組んできた相談案件に具体的な成果が徐々に始まっており、そのいくつかは関西経済連合会の会報「経済人」に紹介されています。「担当コーディネーターがご相談者と手を携えながら課題解決に取り組む」、「必要に応じて多数の連携機関、アドバイザーの皆様の支援をうけて粘り強くやりきる」というPFの活動が実を結び始めてきたと実感しております。

記録的な寒波もやっとピークを過ぎ、春を感じさせる3月を迎えます。当PFも、C Dと力を合わせて活動を続けてまいりますので、ご支援をお願いいたします。

「X線回折装置」が新しくなりました

京都府中小企業技術センター



令和6年度JKA機械振興補助事業で導入

X線回折装置は、測定対象物にX線を照射したときに対象物を構成する結晶から発生（回折）するX線のパターンを測定することで、結晶の向きや大きさ、規則性や物質の種類や量を調べることができます。

粉体や固体、薄膜など様々な形状や状態の試料を非破壊で迅速に測定することができるため、異物の特定や製品開発における材料分析まで幅広く用いることが可能です。

研究開発や品質検査等には是非ご活用ください。

※詳しくは以下をご覧ください。

<https://www.kptc.jp/jouhou/xrd/>

※講習会を開催します

令和7年3月13日（木）13：00～16：45

<https://www.kptc.jp/seminar/250313hyoumen/>

「紫外可視近赤外分光光度計」を整備しました

滋賀県東北部工業技術センター

紫外可視近赤外分光光度計は紫外光、可視光および近赤外光をサンプルが吸収または反射する光の量を測定する装置です。

特定の光をカットする光学フィルターの特性、日焼け防止のための衣類、化粧品の紫外線遮蔽率、食品添加物の定量など幅広い分野で利用できる装置です。

＜機種＞ UV-3600i Plus（島津製作所）

積分球 ISR-603（φ60 mm）

＜測定波長範囲＞ 165 ～ 3300 nm

（積分球使用時 220 ～ 2600 nm）



※講習会を開催します

令和7年3月4日（火）13：15～16：15

https://www.hik.shiga-irc.go.jp/info/news/R6_UV

X線CT装置を導入しました

奈良県産業振興総合センター

X線CT装置は、対象となるサンプルにX線を照射し、非破壊で内部構造の二次元透過像を取得し、さらには異なる方向から撮影した複数の二次元透過像から立体的なデータを再構築し、コンピュータ断層（CT：Computed Tomography）撮影をする機器です。令和7年4月から供用開始予定です。

今年度導入した装置はFOV200mmの広視野測定とFOV5mmの高分解能（μmオーダー）測定機能を持っています。

さらに、より高度な解析を行うために、距離・角度などの計測や欠陥などの分布解析および繊維状配向解析などを定量的に評価出来るCT画像解析用ソフトウェアも併せて導入しました。



※令和6年度JKA機械設備拡充補助事業で導入



※詳しくは以下をご覧ください。

https://www.pref.nara.jp/secure/85332/R06_JKA%20X-RayCT.pdf

技術ソリューション集（試験分析のトリセツ）を公開しました

（地独）京都市産業技術研究所

日頃多くの事業者様からいただく依頼試験や技術相談をもとに、どのような試験や評価ができるのかについて、わかりやすく情報をまとめた、「技術ソリューション集（試験分析のトリセツ）」を作成しました。

よくあるご相談例や装置の使用事例、得られる結果の一例を丁寧にまとめています。

第一弾は「金属材料分野」と「表面処理分野」の事例集です。

「何ができるのか」をわかりやすくお伝えすることを第一に作成しておりますので、ぜひ一度ご覧ください。



※詳しくは以下をご覧ください。

<https://tc-kyoto.or.jp/technical-solution/>